

よかばい!長崎県の特別支援学校の教員 ～ 採用2年目の教員の声 ～

長崎県立特別支援学校には、約1,000名の教員がおり、障害のある子供たちの自立や社会参加に向けて、日々指導・支援を行っています。

今回、採用2年目の5名の教員に、特別支援学校の教員の魅力などについてインタビューを行いました。



特別支援教育課マスコット
とくシカ

<インタビュー協力者>

- | | | |
|--------------------|-------|----|
| ○ 長崎県立盲学校 | 浦里 麻唯 | 教諭 |
| ○ 長崎県立佐世保特別支援学校 | 田村 萌香 | 教諭 |
| ○ 長崎県立鶴南特別支援学校時津分校 | 萩原 緑 | 教諭 |
| ○ 長崎県立希望が丘高等特別支援学校 | 成松 荘太 | 教諭 |
| ○ 長崎県立大村特別支援学校 | 近藤 史織 | 教諭 |



長崎県立盲学校 (視覚障害特別支援学校)

高等部 浦里 麻唯 教諭



特別支援学校の教員になろうと思った理由(きっかけ)

- ・ 高校生のときに体験した特別支援学校との交流及び共同学習がきっかけです。生徒への言葉掛けが温かく、寄り添った指導をされている先生方の姿を見て、特別支援教育の魅力を肌で感じ、教員を目指そうと思いました。

特別支援学校の教員になって、一番うれしかったこと(やりがいを感じていること)

- ・ 受け持っている生徒から「先生のおかげでこんなことができるようになった!」という言葉が掛けられることが、一番うれしいことです。生徒の頑張っている姿や掛けてくれる言葉は、私にとっての活力であり、やりがいにつながっています。

これから身に付けたいこと、頑張りたいと思うこと

- ・ 目の前の生徒一人一人の「できる」を増やしていける教員を目指しています。周囲の先生方の姿を観て、積極的に学ぶ姿勢を大事にしながら自分を磨き、障害種別の専門性や教科の指導力を高めていけるよう頑張りたいです。

これから長崎県の特別支援学校の教員を目指す人へのメッセージ

- ・ 生徒一人一人とじっくり関わり、そばで成長を見守ることができる魅力的な職業です。親身になって相談にのってくださる先生方がたくさんいます。安心して指導・支援ができる環境ですので、今後皆さんとも一緒に働くことができたらうれしいです。



長崎県立佐世保特別支援学校

(知的障害教育部門と肢体不自由教育部門を併置した特別支援学校)

小学部 田村 萌香 教諭



特別支援学校の教員になろうと思った理由(きっかけ)

- ・ 知的障害のある弟がいたことがきっかけです。特別支援学校に行くようになってから、できることがたくさん増え、特別支援学校の先生のすばらしさに感動し、なりたいと考えるようになりました。

特別支援学校の教員になって、一番うれしかったこと(やりがいを感じていること)

- ・ 子供たちの成長を近くで見られることです。毎日が新発見の連続で、子供たちの「できた!」瞬間の笑顔にいつも元気をもらっています。

これから身に付けたいこと、頑張りたいと思うこと

- ・ 子供たちを多面的な視点で捉え、的確に実態把握を行うことと、授業づくりにおける引き出しを増やすことです。自己研鑽はもちろん、周りの先生方の授業や子供への関わり方を見たり、聞いたりしながら学んでいきたいです。

これから長崎県の特別支援学校の教員を目指す人へのメッセージ

- ・ 子供たちに寄り添い、成長を間近で感じることができるのは特別支援学校教員の特権だと思います。一緒に、長崎県の特別支援教育を盛り上げていきましょう!



長崎県立鶴南特別支援学校時津分校

(知的障害特別支援学校)

小学部 萩原 緑 教諭



特別支援学校の教員になろうと思った理由(きっかけ)

- ・ 特別支援学校での教育実習を通して、子供たちとの結び付きが強く、一人一人に密に寄り添った指導や支援をして、成長を近くで見ることのできる特別支援学校の教員に魅力を感じました。

特別支援学校の教員になって、一番うれしかったこと(やりがいを感じていること)

- ・ 難しかったことが少しずつできるようになってきて、子供たちや保護者の方、一緒に指導や支援をしてきた先生方と一緒に成長を感じて喜び合えることです。特に、子供自身が「できた!」と喜んでいる姿を見た時は、本当にうれしいです。

これから身に付けたいこと、頑張りたいと思うこと

- ・ 子供たちの興味や関心を引き付けられるような授業の内容や話し方、教材の使い方など自分の引き出しをもっと増やして、楽しく授業を展開できる教員になりたいです。

これから長崎県の特別支援学校の教員を目指す人へのメッセージ

- ・ 指導や支援の難しさに悩むこともありますが、それ以上に子供たちから元気をもらうことが多く、周りの先生方と子供たちの成長を喜び合える時間がとても楽しいです。教員になってよかったと思う瞬間がたくさんあります。



長崎県立希望が丘高等特別支援学校

(知的障害特別支援学校)

高等部 成松 荘太 教諭



特別支援学校の教員になろうと思った理由(きっかけ)

- ・特別支援学校に講師として勤務し、多くの先輩方から御指導いただく中で、生徒一人一人の実態に合わせて指導を行う特別支援教育に魅力を感じたからです。

特別支援学校の教員になって、一番うれしかったこと(やりがいを感じていること)

- ・体育祭や文化祭など多くの行事を通して、生徒とともに何をするかを考え、練習を行い、本番に臨み、生徒の達成感に満ちた笑顔を見ることができたことです。

これから身に付けたいこと、頑張りたいと思うこと

- ・家庭や地域と協力して多面的な視点をもって生徒の自立や将来に向けての目標を立て、生徒が「できた!」と思えるような指導ができるようになりたいです。

これから長崎県の特別支援学校の教員を目指す人へのメッセージ

- ・特別支援学校は生徒一人一人の実態に合わせたきめ細やかな指導ができ、とてもやりがいのある仕事だと思います。私自身、まだまだ未熟で周りの先輩方から多くのことを学ばせてもらっています。教員を目指す皆さんとの出会いを楽しみにしています。



長崎県立大村特別支援学校

(病弱特別支援学校)

中学部 近藤 史織 教諭



特別支援学校の教員になろうと思った理由(きっかけ)

- ・小学生の時の級友が、中学校で特別支援学級に在籍することになりました。その友達のために、自分にできることは何かないのかと考えたことがきっかけです。

特別支援学校の教員になって、一番うれしかったこと(やりがいを感じていること)

- ・教材研究を行い、準備がしっかりできた状態で授業をした時に、生徒が1時間顔を上げて話を聞いてくれたことです。

これから身に付けたいこと、頑張りたいと思うこと

- ・教えるべきことの中にある、面白さや楽しさを感じることができる感性を磨き、生徒が楽しみになる授業をできるように頑張りたいと思います。

これから長崎県の特別支援学校の教員を目指す人へのメッセージ

- ・教職は子供と関わる仕事だと思っていましたが、実際に働いてみると児童生徒と関わる時間よりも他の教員や関係機関の方々と関わっている時間の方が長いのではないかと感じます。教員を目指す人も一人で悩みを抱え込む必要はなく、周りの人と支え合いながら頑張りたいと思います。